

平成28年6月1日

会員各位

協会だよりー282(6月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

● 第228回月例会（講演会）

日時：7月7日（木）

場所：主婦会館（JR四ツ谷駅麴町口前1分）東京都千代田区六番町15

講演会 14：30～16：45

① 松宮 徹氏（金沢大学大学院 客員教授） 14：30～15：30

② 西村雅宏氏（RAPAS 株式会社 営業部長） 15：45～16：45

懇親会 17：00～19：00



ハイキングで出会った花大根（諸葛菜）の群生

科名：アブラナ科/属名：オオアラセイトウ属

和名：花大根/諸葛菜/紫花菜/

中国原産の帰化植物で各地で栽培品から野生化

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
【予定事項】
- 二. 第四十一期定期総会が終わって
- 三. 会長挨拶（和氣 収）
- 四. 会員の異動（賛助会員の加入紹介）
- 五. 事務局より（六月度の予定）
- 六. フレンチポリネシアのタヒチ、イースター島を訪ねて
- 七. 【雑学】町田市の境界を巡る3-2.（鶴川駅から唐木田駅まで）

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー281（5月号）をメール&郵便で送信（5/1）
- ② 第230回月例会（一泊研修会）の予備のご案内（5/9、5/17）

③ 第41期定期総会開催

- 日 時：5月12日(木)
 場 所：JXグループ六本木クラブ
 ➤ 役員会 14:30~15:30 2F会議室
 ➤ 総 会 16:00~17:00 2F会議室
 ➤ 懇親会 17:30~19:30 BF和 室

④ 第228回月例会(講演会・懇親会)のご案内(5/25)

⑤ 第一回運営委員会

- 日 時：5月26日(木)16:00~
 場 所：堺化学工業(株)会議室
 出 席：運営委員、第238回月例会幹事会社、専務理事
 [予定事項]

① 第230回月例会(一泊研修会)のご案内(6/21頃)

2. 第41期定期総会が終わって

5月12日(木)16時よりJXグループ・六本木クラブにおいて第41期定期総会が、正会員37社中出席会員31社、委任状提出5社の計36社、賛助会員1社の出席で会則に従い開催された。

本年度は、役員改選期にあたり、会長、副会長を始め新しい方が選出された。

(敬称略)

- 会 長 和氣 収 (JX金属(株))
- 副会長 岩崎信男 (新興化学工業(株))
- 副会長 林 光蔵 (田中貴金属工業(株))
- 会 計 牧 恵子 (太陽鋳工(株))
- 理 事 水野光男 (アジア物性材料(株))・調査・技術委員長
- 理 事 尾沼 涼 (ジョンソン・マッセイ・ジャパン)・広報委員長
- 理 事 川上好武 (ミヤマ(株))・運営委員長
- 監 事 蔭佐 仁 (小島化学薬品(株))
- 監 事 西野正人 (中外鋳業(株))



なお、各委員会委員(会社名アイウエオ準)の委嘱を行った。

【運営委員】8名

- 石福金属興業(株)・吉岡 実
- クラリアント触媒(株)・重村好則

- 堺化学工業(株)・新崎俊光
- 日揮触媒化成(株)・木島嘉之
- 日誠金属(株)・菊地昭宏
- (株)フルヤ金属・山本正樹
- 安田薬品(株)・田原新也 (代行・津田 太)
- 銚浜金属(株)・岡野由宇

【調査・技術委員】5名

- アジア物性材料(株)・水野光男 (レアメタル部会長兼務)
- エヌ・イーケムキャット(株)・野口綱夫 (貴金属部会長)
- キンキメタル産業(株)・堀内照弘 (アルミナ他部会長)
- 日興リカ(株)・永田伸和 (Ni-Co 部会長)
- 太陽鋳工(株)・荒巻裕二 (Mo-V-W 部会長)

【広報委員】2名

- 川研ファインケミカル(株)・渡部真治
- JX 金属(株)・井上祐介

以上 15 名の委員を平成 28 年度～29 年度 (2 年間) 委嘱いたしました。



第 41 期 (平成 28 年度) 定期総会

平成 28 年 5 月 12 日 (木) 16 : 00 ~ 17 : 00

会場 : JX グループ六本木クラブ会議室 (2F)

総会終了後、17 : 30 より同クラブ地階和室において、42 名の出席で懇親会が催された。佐藤 (アサカ理研)、八木下 (光正)、井上 (JX 金属)、小林 (ヘレウス)、小林 (三菱マテリアル)、高橋 (メタルドゥ)、河田 (神鋼リサーチ) (敬称略) 各位、新規参加者の自己紹介をお願いし、協会の主催する月例会にさらに積極的参加を要請した。

3. 会長挨拶 (和氣 収)

協会会員各社の皆様並びに関係各位におかれましてはご清栄のこととお慶び申し上げます。今年4月1日付のJX金属㈱における人事異動により前任の三浦氏から協会長を引継ぎました和氣でございます。

会長就任にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

当協会は昨年に創立40周年を迎えましたが、40年もの長きに亘り当協会が発展を続けてこられたことは、ひとえに経済産業省をはじめとした関係ご当局・諸団体の皆様のご指導・ご支援と、当協会会員各社の皆様のご協力によるものと深く感謝申し上げます。

さて、私達リサイクル事業に携わる当協会の会員各社を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いています。当協会の活動の一つとして、会員各社の暦年ベースの有価金属回収実績を『触媒資源化実績報告書』として毎年発表しておりますが、2015暦年の実績報告では全体の回収金属量が13,212tと前年比58%の減少となっており、国内のリサイクル原料の発生量の減少や含有金属品位の低下に加え、原油・金属など資源価格の下落・低迷が続いたことが大きく影響したものと推察されます。

今年に入り資源価格は米ドル建てでは底を打った感がありますが、依然として低い水準で推移しており、昨年までに進化した円安の調整も見られ、円建て価格では今もなお下落が続いています。また中国をはじめとする新興国における経済成長の減速懸念も根強く、今後の経済の見通しは不透明な状況です。更に最近では4月に発生した熊本地震により、現地の自動車・電子機器関連企業の製造工場は操業停止を余儀なくされました。被災した工場は現在も復旧の途上にあり、サプライチェーンの寸断が長引くような場合には、より広範囲に亘る国内製造業の低稼働に繋がることが懸念されます。

一方で、エネルギー・鉱物資源に乏しい我が国においては、今後も国内における資源の有効活用が重要であることに変わりありません。現状の大変厳しい環境の中にあっても会員各社のリサイクル促進に向けた弛まぬ創意工夫の努力が、我が国の資源循環社会への貢献に繋がると共に、これからのリサイクル産業の活路を切り開いていくものと確信しております。

つきましては、当協会が少しでも会員各社のお役に立てるよう、当協会の各役員・理事との意思疎通を図りながら、会長として協会発展のために微力ながら専心努力して参る所存ですので、是非とも関係ご当局並びに会員各社の皆様方のご理解とご指導・ご支援を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社のますますのご発展と、当協会の更なる発展を祈念致しまして、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

* J X金属㈱ 取締役 常務執行役員 環境リサイクル事業本部長



4. 会員の異動 (賛助会員の加入ご紹介)

5月12日(木)開催の第一回役員会において、株式会社神戸製鋼所技術開発本部機械研究所の入会(賛助会員)が承認されましたのでご紹介いたします。

- 株式会社神戸製鋼所 技術開発本部 機械研究所

代表 上田 裕樹殿

所在地：〒651-2271 神戸市西区高塚台 1-5-5

協会担当者 松岡 亮殿

所 属：技術開発本部機械研究所化学環境研究室

業 務：溶媒抽出によるレアメタル回収システムの開発、社内プラントで使用する触媒の開発及び評価など

本社所在地：〒651-8585 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4

資本金：250,900,900 千円

従業員数：10609 名

主なる事業内容：

鉄鋼、非鉄金属、産業機械、エンジニアリング、電力

以上よろしく願いいたします。

5. 事務局より (6月度の予定) 出勤予定：9日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
5/29	5/30	5/31	1	2	3	4
× (札幌へ) 4泊					○	×
5	6	7	8	9	10	11
×	×	○	× (C)	×	○	× (W)
12	13	14	15	16	17	18
×	× (G)	○	×	○	× (W)	×
19	20	21	22	23	24	25
×	× (G)	○	×	×	○	×
26	27	28	29	30	7/1	7/2
× (盛岡へ) 1泊		○	×	○	○	×

6. フレンチポリネシアのタヒチ、イースター島を訪ねて

仕事で南米のチリには多数回訪問している。チリ国営のコデルコ社の銅精錬所があり、国家予算の50%以上をこの会社業績でカバーしており、銅相場が国の財政を左右している。弊社は副産物のレアメタル材を買い精製高純度化し、機能的な材料としている。或る時、営業部長にクレームを伝えたら、7000キロ離れたチキカマタ精錬所行きを提言され丁重に断った記憶がある。

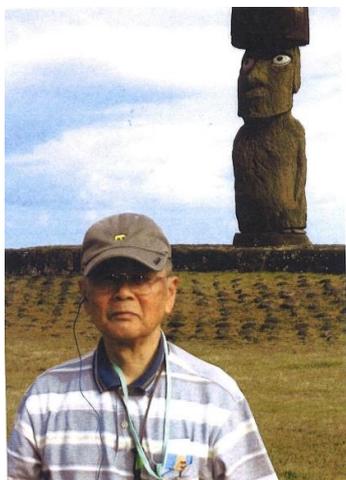
ところで、この地を訪ねる度にイースター島のモアイ像を見たいと思ったが、日程調整が付かず実現しなかった。島はチリ領でサンチャゴから 3800 キロあり、週何便かの定期便が飛んでいるが 4000 キロのタヒチからの便が無くあきらめていたら、ある旅行社が連休中に臨時便を設定、利用できることが分かり今回の訪問となった。

スペイン語でセニョリーター多用、お金はペソ、成田/タヒチ間は直行便で約 11 時間、乗り換え後 5 時間でイースター島に着く。今回のツアーは往復 2 日、イースター島 2 日、タヒチ 2 日の忙しい旅となった。200 余りの美しい島々からなるポリネシア地域で他の島も興味があったが、今回は諦めた。

先ずイースター島だが、南太平洋に浮かぶ面積約 170 平方キロ米の島は、世界で最も人里離れた、居住可能な地です。1722 年の復活祭 (イースター) の日にオランダ人がこの島を発見した時、「不毛の地」と思った。3 米を超える木は一本もなく虫より大きな動物の姿を見かけることは無かった。カヌーで現地人が来たがどうやって絶海の孤島に来たのか不思議に思った。しかし更に彼が当惑したのは、島の巨大な石造群だった。在住の 2000 人ではとても出来ず、大勢の人たちはどこへ行ったのか？

日本との時差マイナス 14 時間で、朝昼の温度差が大で強風とにわか雨が多く、自分たちも豪雨と風でずぶ濡れになった。タヒチ航空は知らなかったが B クラスは食事も良く満足した。翌日から早速 10 ケ所ほどあるモアイ設置地を訪ね、現地常駐のガイド最上さんの説明を聞く。母材のラノ・ララク岩石山から掘り出し、目的地に移動し立てた

のが信じ難い。この斜面には移動途中放棄したり、高さ 2 1 米の未完成の最大のモアイや失敗作と言われる 2 つの顔があるモアイも見られる。この地に 400 体ほどあり、島内には他に 600 程あるといわれている。斜面には「モアイの道」と呼ばれる運搬路の跡があり、全



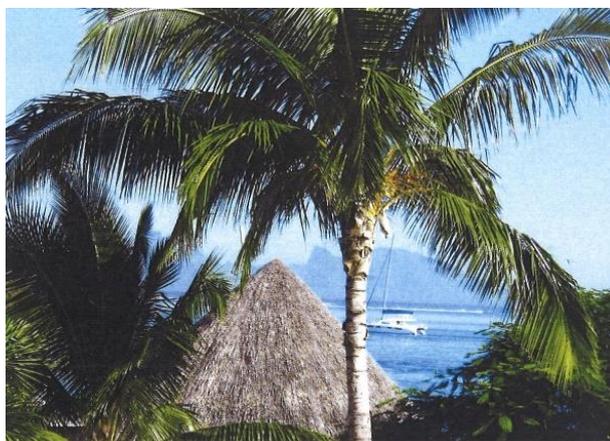
行程を徒歩で回ると約1時間かかる。この日は雨風で細い急斜面の通路に閉口した。復元された中で最も大きい15体の立つトンガリキは地震倒壊したモアイを平成4年に宮崎県タダノ建設がクレーン車を手配して仕上げた。TVの世界ふしぎ発見で黒柳徹子が指摘し先の経過になったとも聞いた。尚当地で32体のモアイが発見され、ここに最も大きな村があったと予測される。

アキビなる地に最古の7体のモアイがあり、ここだけ西の海を見つめている。他のモアイは全て海を背に内陸を向いており島民の幸福を願っているとの説明だ。又、島民7000人に対し、野生馬が一万頭もいる由、勿論放牧している馬、牛もいる。

白砂のアナケナ・ビーチは海水客で賑わい、タヒチから移植ヤシの木が茂り5体のモアイ像もある。モアイは砂に埋まっていたので、保存状態がよく像の彫刻が細部まで見ることが出来る。海岸のテントの下で昼食弁当を取り、気分爽快。尚島には便所が極端に少なく且有料で\$1取られる。又ピナブには赤色凝灰岩で作られた非常に



珍しい女性のモアイがある。島南端のオロンゴにはモアイ倒し戦争後バードマン(鳥人)競争で2キロ先の島往復を泳ぎ、鳥の卵を一番で持ち帰り酋長に渡すとその長老が一年間島の最高位となり、争いは無くなった。尚昼食に海岸のレストランで甚大マグロ切り身のステーキは美味なるも、¥2500/人と高価なり。又夕陽と朝日をモアイに重ねて見学、素晴らしい光景でした。尚 250年前スペイン人にロンゴロンゴなる文字を使ってサインしたが、その後ペルーの奴隷狩りで最後の読み手も死んでしまった。文字が彫られた木片が沢山あったがキリスト教改宗で焼き捨てられ、謎の文字となった。この文字が解明されれば、島に残された数多くの謎も解明されるかもしれない。以上満足のイースター島であった。



次の2日間はタヒチ島に移り観光をした。ホテルは超一流で先ず繁華街パペーテ市に行くも、キリスト昇天祭の休日で商店街はクローズ、しかし丁度10万トン級の客船が入港しており、開店したところも多く助かる。ここも全て高価であり、常駐女性ガイドも環境、気候は良いが物価の高いのには悩まされる由。午前の自由時間を散策し、午後のツアーに出掛け、初めがタヒチ博物館は興味なしゴウギャンの博物館を見たかった。続いてスーパーマーケットにより、土産推奨品をガイドが案内するも、ここはフランス領でフランしか使えず店内の両替でドルを換金し、ショッピングをした。更にバスで海岸沿いを走行、南国の美しい海と後方のモーレア島影を展望気分爽快となる。

暫くして島北端のビーナス岬に着き、公園と海岸を散策する。祭日の為家族ずれ多く海岸は海水浴客で賑わっており、ゴウギャンの描く薄黒の若い美女を物色するも、%は少ないが確かに見かけ今日の収穫である。公園内に映画等で知られている「バウンティ号の反乱」に関係した人達を集めた銅像があった。英国の探検隊でタヒチに逗留中に反乱が起き、艦長らを追放したが英国は反乱者の逮捕に乗り出した事件である。

パンの木の実の実は栄養価が高く奴隷用にタヒチに業者が収穫に来たらしい。

ガイドによると、学校でフランス語の授業を受けタヒチ語が全く分からない子供が増えており、問題になっている。日本でも東北弁、鹿児島弁、アイヌ語らの保存が検討されており、どこでも同じだ。タヒチ語で注意をされたのが、さかな、魚(禿の事)、ころ心(男根)の由。又昔から王族が入れ墨をしており日本の暴力団が聞くと喜びそうな話だ。以上で今回の旅は終わりだが、中国人、韓国人はついぞ見かけなかった。注意書きにも英文と日本語のみであった。若い人たちが多く、グアム、ハワイより海のきれいな、島の多いポリネシアを好むのかも？新婚旅行も多いらしい。

記：鶴岡 武 (アジア物性材料(株)取締役会長)

【感謝】鶴岡さんからは、長い間、海外旅行記を中心に、国内の神話の里(熊野、出雲)などの旅行記を投稿していただきました。一般の人ではなかなか行けない、南極大陸、アマゾンの源流、アフリカのサファリーの旅、北アメリカ(カナダ、USA)南アメリカ(ペルー、チリ、アルゼンチン、ブラジル、他)数多くの国を訪問し、又旅行記を書き留めて戴有難うございました。今回の旅日記で、一度しばらく筆を置きたいとのこと、残念ですが又の再開を期待していますので宜しくお願いいたします。



南極の冰山(限りなくブルー)

7. 【雑学】町田市の境界を巡る3-2. (鶴川駅から唐木田駅まで)

今回は南野の多摩よこやま道に入った所であった (地図は3-1を参照してください)。山道を下ると、また一般道になる。降りた所には日蓮宗の妙桜寺があった。一般道を道なりに進むと恵泉女学園大学のキャンパスに達する。女学園らしく優雅な建物だ。



恵泉女学園は、昭和4(1929)年、河井道さんが創立、大学は昭和63(1988)年、ここ南野の地に開校して28年になる。人文学部・人間社会学部の二学部より構成され「生活園芸」が必須科目となっている。雨ニモマケズの宮澤賢治先生に憧れて岩手大学農学部、大学院を卒業し、現在人間社会学部人間環境学科教授として指導しておられる藤田智先生(学部は違うが岩手大学卒という事で私と同窓か)は、NHK「趣味の園芸やさいの時間」などで、ご存知の方もおられると思う。

恵泉女学園を過ぎると一本杉公園になる。現在、町田市は境川・鶴見川水系に属しているが、この辺りは元、町田市小野路町で、小野路の瓜生、一本杉、平久保、萩久保は分水嶺が多摩川水系になることから、行政の境を越えて大規模な多摩ニュータウンの開発に組み込まれ、昭和48(1973)年、多摩市に編入された。一本杉公園の中には、池(公園は高台なので水源はどこか?)、トイレも完備し、多摩市落合の旧加藤家住宅・多摩市乞田の旧有山家住宅の二つの古民家があり、展示、開放されている。どちらも農家で、18世紀頃の建物と言われている。

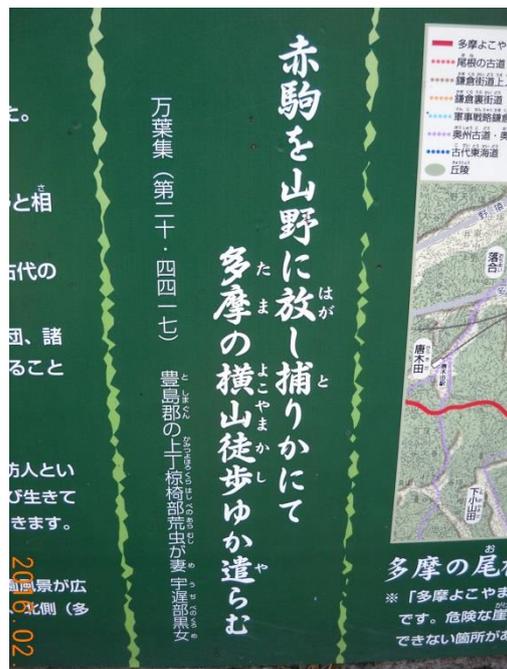


《万葉集の歌碑》 一本杉公園内

多摩のよこやまが詠まれていた万葉歌の歌碑が建立されている。大伴家持は天平勝宝 6 (754) 年、兵部少輔 (今の防衛省次官か?) となり、役目で防人を扱うようになり、防人やその妻の素朴な真情にあふれた歌に感じて、これらを『万葉集』に留めたのだらうといわれている (坂口由美子 ビギナーズクラシック日本の古典「万葉集」角川ソフィア文庫より)



万葉集の巻二十には、防人やその家族が詠んだ、離別を悲しむ歌が九十余首収められている。この歌もこの地方から防人として九州へ行く夫を気遣う妻が詠んだものであろうか。



公園を出て、右手に一本杉球場 (高校野球西東京予選などに使用される) や運動施設を見ながら、また多摩よこやま道に戻る。しばらく歩くと左手町田側には綺麗なスポーツ施設が見えるではないか。多摩南野ゴルフに達し、一般道に下りると、そこには小野路のキャノン・スポーツ・パークであった。町田市に本拠を置く、ラグビー一部リーグのキャノン・イーグルスのベースグラウンドだ。



尾根幹線道路に出るため、車でよく通る道にキャノン・スポーツ・パークは面しているのに、歩いてみて初めて気がついた次第である。

街道を横切り、裏手より再度多摩よこやま道に入る。鶴乃橋より先は、尾根幹線道路に沿って進む。KDDI ビルと東京国際 GC の裏手に、新田義貞鎌倉攻め激戦地が今のゴルフ場一帯 (小山田) であった謂れの説明文が有る。その時戦死した武士の頭蓋骨も、町田市博物館に保存されているそうだ。IN16 番と 17 番の間に、頭蓋骨を発掘した慰霊の勝負塚が建立

されていることを知った。今度の3月22日(火)に町内会のコンペが東京国際GCで行われるので、確認してぜひ写真に収めてみたいものだ。北条軍と新田軍が戦った古戦場の跡地で、我々は球を打って勝負しているのも不思議な縁を感じる。



好天の中プレーしている OUT9、IN18 や IN17 のプレーヤーを左手に眺めながら、多摩市総合福祉センター裏に出る。東京国際 GC は町田市にある唯一のゴルフクラブである。元々27ホールあったのだが、分水嶺が多摩川水系にあった9ホールはニュータウンの開発で宅地化され18ホールとなったようである。

次回のウォーキングは、このGCの付近より、境界を巡るそうだ。今日は尾根幹線道路を渡って小田急多摩線の唐木田駅へ向う。ウォーキングは唐木田駅で解散となる。

鶴川まで戻るには、バスの便は無く、電車利用の唐木田駅 ⇒ 新百合ヶ丘駅乗換え ⇒ 鶴川駅が一番早いようだ。



《余談》

小田急多摩線延伸計画。現在は唐木田駅が終点である。

町田市と相模原市で共同推進している小田急多摩線延伸計画とは、現在、新百合ヶ丘駅から唐木田駅まで整備・運行されている小田急多摩線を、町田市を通り、JR 横浜線相模原駅・JR 相模線上溝駅へ延伸する計画です。(町田市 HP)・・・とのこと。

記：小林尚道

【文責：専務理事】